

## お申し込み

電話、Eメール、FAX、往復はがきのいずれかの方法で氏名・住所・年齢・電話番号・希望講座をご記入の上、お申し込みください。

**お申し込み締切：【春期講座】平成30年4月14日(土)必着**  
**【秋期講座】平成30年9月 8日(土)必着**

## 開講決定のお知らせ・書類の送付

開講決定後、受講に関する資料を送付いたします。

※各講座のお申し込みが所定の人数に満たない場合は開講を中止します。予めご了承ください。  
開講中止のお知らせは、事前に本学ホームページでお知らせします。

## 受講料のお振込み

受講に関する資料に記載している、指定の銀行口座にお振込みください。  
(大学窓口でのお支払いはできません。開講決定以降に振り込まれた受講料は原則、返金できませんのでご了承ください。本学指定の期日までに受講料の振込みがない場合は、受講を取り消させていただきます。)

## 受講者特典

以下施設等が利用できます。

- 図書館
- 無料スクールバス
- 駐車場(マイカーでのご来場が可能です)
- 大学食堂(ただし土曜休業、営業時間は別途確認願います)

## 講座修了時について

講座回数の8割以上に出席された方へ修了証書を授与します。

## その他

講師の都合等でやむを得ず休講する場合は補講を実施します。

## 会場

東京成徳大学八千代キャンパス

## アクセス

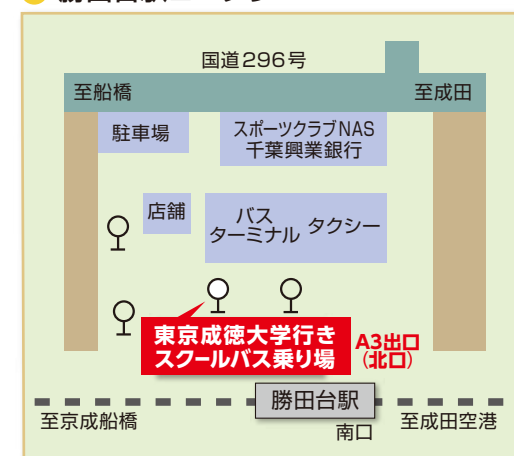
### ● 電車をご利用の場合

京成本線「勝田台駅」、東葉高速線「東葉勝田台駅」ともにA3出口から無料スクールバスで約15分。  
ご利用に際しては、本学ホームページで最新のダイヤを必ずご確認ください。

### ● お車をご利用の場合

国道16号線「米本交差点」から本学へお進みください。  
駐車場は、無料でご利用いただけます。

### ● 勝田台駅ロータリー



### ● 大学周辺図



## お申し込み 問い合わせ先

**東京成徳大学 八千代キャンパス** 〒276-0013 千葉県八千代市保品2014  
TEL.047-488-7103 FAX.047-488-7104 E-mail: tsu-opencollege@tsu.ac.jp  
〔電話受付 平日 9:00～16:00 土曜 9:00～13:30〕 HPアドレス: <http://www.tsu.ac.jp>



TSUオープンカレッジ 2018

# 公開講座のご案内



## 春期

- 世界史を横断するI
- 困り感を抱えた子どもの理解と支援
- 毎日をより豊かにする心理学

## 秋期

- 世界史を横断するII
- ソーシャルワークのアセスメント



東京成徳大学 八千代キャンパス



春期講座

お申し込み締切:平成30年4月14日(土) 必着

世界史を横断するⅠー同時代になにが起こっていたかー

受講料 10,000円

**講師 大井 剛** (人文学部共通領域部教授)

世界の歴史を時間で輪切りにする講義です。同じ時代に異なる地域で生じているできごとを並べてみると、その国や地域の特性がうかびあがってくることがあります。歴史年表を横に読みながら、世界史の年代を積み重ねていきましょう。めやすとして一定の基準年を設定しますが、前後に時間の幅をとって時代の潮流をとらえます。史上の基本事項は、最新の改訂をへた高等学校「世界史」および「日本史」教科書の記述をおさえつつ、放送大学の講義、大学入試センター試験問題などを随時参照します。いまどきの若い者がどんな歴史を学習しているか知るのも一興かと存じます。

- 開講時間 水曜日13時00分～14時30分
- 回数 5回
- 定員 20名 (8名以上で開講)
- ①5月16日(水) 人類史の時間と空間

②5月30日(水) 650年の世界

③6月13日(水) 850年の世界

④6月27日(水) 1050年の世界

⑤7月11日(水) 1250年の世界

困り感を抱えた子どもの理解と支援

受講料 8,000円

**講師 中山 哲志** (応用心理学部福祉心理学科教授) **別府 さおり** (応用心理学部福祉心理学科准教授)

園や学校、学童保育、放課後等デイサービス、家庭、地域など身近に気になる子ども、困り感を抱えた子どもがいる方をはじめ、内容に関心のある方を対象とします。

この講座は、子どもの見方、困り感への気づきと理解、具体的な支援などの基礎的な内容の講義を中心とします。本講座の内容が、子どもとの日頃の関わりのヒントになれば幸いです。

誰もが参加しやすく暮らしやすい社会、多様さを認めあえる社会を目指し、その一助となる子どもの理解や支援について学びませんか。

- 開講時間 土曜日10時40分～12時10分
- 回数 4回
- 定員 30名 (8名以上で開講)
- ①6月23日(土) 「誰をも排除しない地域社会」今日までの歩みと課題

②6月30日(土) 「”困った子”は”困っている子”」具体的な場面や行動から考える

③7月 7日(土) 「周りの大人ができること①」環境整備を中心に

④7月14日(土) 「周りの大人ができること②」関わり方を中心に

毎日をより豊かにする心理学

ー健康、幸せ、コミュニケーションに心理学を活かすー

受講料 10,000円

**講師 本多 麻子** (応用心理学部健康・スポーツ心理学科准教授)

ストレスとは現在、小学生から高齢者にまで知られた言葉となりました。ストレスはよくないもの、解消すべきものと思われがちです。しかしストレスサー(ストレスの原因)を完全に無くすことはできず、私たちは生涯、ストレスサーと付き合う必要があります。この講座ではストレスについて知り、ストレスと上手に付き合う方法をお伝えします。また、健康とは、心も身体も周囲の人々とのコミュニケーションも含めて良好な状態をいいます。心理学を利用して、マイナスの状態をゼロにするだけでなく、さらにプラスの方向に向けて、健康の保持・増進をめざす、もっと幸せになる、望ましい自分に変わる(行動変容)ヒントをお伝えします。

- 開講時間 火曜日13時00分～14時30分
- 回数 5回
- 定員 30名 (8名以上で開講)
- ①5月15日(火) ストレスを知る:ストレスの原因、ストレスが心身に及ぼす影響“ものは考えよう”、“持ちつ持たれつ”は正しいなど

②5月29日(火) ストレスと上手につきあう:リラクセーション、ストレス・マネジメント方略、ストレスを利用し、力に変える方法など

③6月12日(火) もっと幸せになる:幸せの決定因(50%は遺伝、10%は環境、40%は自分の行動)科学的にもっと幸せになれる12の行動習慣など

④6月26日(火) コミュニケーションの工夫:コミュニケーションの基本、誤解、工夫とヒント“言いたいことが言えない”の克服など

⑤7月10日(火) 自分を変える:生活習慣、健康、仕事、勉強、人間関係などの日常場面で、心理学を活用したもっと理想の自分になる方法など

秋期講座

お申し込み締切:平成30年9月8日(土) 必着

世界史を横断するⅡー同時代になにが起こっていたかー

受講料 10,000円

**講師 大井 剛** (人文学部共通領域部教授)

世界の歴史を時間で輪切りにする講義です。同じ時代に異なる地域で生じているできごとを並べてみると、その国や地域の特性がうかびあがってくることがあります。歴史年表を横に読みながら、世界史の年代を積み重ねていきましょう。めやすとして一定の基準年を設定しますが、前後に時間の幅をとって時代の潮流をとらえます。史上の基本事項は、最新の改訂をへた高等学校「世界史」および「日本史」教科書の記述をおさえつつ、放送大学の講義、大学入試センター試験問題などを随時参照します。いまどきの若い者がどんな歴史を学習しているか知るのも一興かと存じます。

- 開講時間 水曜日13時00分～14時30分
- 回数 5回
- 定員 20名 (8名以上で開講)
- ①10月 3日(水) 1450年の世界

②10月17日(水) 1550年の世界

③10月31日(水) 1650年の世界

④11月14日(水) 1750年の世界

⑤11月28日(水) 1850年の世界:現代への展望

ソーシャルワークのアセスメント

ー共感的理解を基にした支援をするためにー

受講料 8,000円

**講師 朝比奈 朋子** (応用心理学部福祉心理学科准教授)

福祉・介護の現場で、相談支援又はケアプラン等を作成することを仕事としている方(概ね、経験年数2年以上)を対象とした講座です。

この講座では「生活アセスメント」の概念・手法を用いて、前半にわたしたちが捉えるべき「生活」の特徴を講義形式で理解します。後半は、実際の事例を用いた演習形式で「生活アセスメント」の実践を学びあいます。

日々の相談業務やケアプラン作成の中で、クライアントを「生活者」として捉えることができていない方、「クライアントを理解して支援をしているのか不安」、「一生懸命やっているのに、不快感が残る」と思っている方へ。クライアントの「生活」を「まるごと」理解する生活アセスメントを学びませんか。

- 開講時間 土曜日13時00分～16時10分(休憩10分あり)
- 回数 4回
- 定員 20名 (8名以上で開講)
- ①11月17日(土) 講義1.わたしたちの「生活」とアセスメント

②11月17日(土) 講義2.生活アセスメントとは

③12月 1日(土) 演習1.生活アセスメントを用いた事例(グループ活動)

④12月 1日(土) 演習2.事例のまとめ

公開講座受講までの流れ

